

子供から高齢者まで、幅広い世代に食と農の魅力を伝える

熊本県立天草拓心高等学校

福祉班 6名

私たち福祉班は「子供から高齢者まで、幅広い世代に食と農の魅力を伝える」をテーマに研究に取り組んでいます。

### 研究の動機

私たちは、農業科目と家庭科目を専門に学習しています。天草の保育園で農業体験活動をどれくらい取り入れているのか、保育園の現状を知り農業を学んだ私たちが保育園で実施できる活動を探っていき、食と農業の素晴らしさを、現在行っている交流活動を通して、より多くの人に伝えていきたいと思ったからです。

### 活動経過は

保育園へのインタビュー、保育園児との芋ほり講座の企画案作成、保育園で花苗植え講座の企画案作成、ズッキーニを活用した、食育講座の企画案作成です。

まず、保育園へのインタビューです。

保育園へのインタビューからみえてきたことは、

#### (1) 各保育所の方針

- ・良い環境の中で、豊かな感性を育む保育を通して、心身ともに健やかでたくましい子供を育てる。
- ・子供たち一人ひとりを「ほとけの子」として尊重し、それぞれに応じた成長の手助けをする。
- ・自らの在り方を積極的に評価できる感情、自らの価値や存在意義を肯定できる感情などを育む取り組みをしている。

#### (2) 農業体験活動について

##### ①栽培する農作物には条件がある

- ・給食に使いやすい食材であること
- ・育てやすい食材であること
- ・収穫の体験がしやすい食材であること
- ・遊びの活動につなげられること

##### ②食育として取り入れていること

- ・自分たちで育てたものは食べる
- ・紙芝居、絵本も活用
- ・年齢に応じたクッキングができることです。

## 保育園児との芋ほり講座の企画案作成

日程はスクリーンの通りです。

昨年度は、私達が実施予定だった保育園児との交流活動がコロナの影響でできなくなりました。そこで、今回、保育園児との芋ほりを私たちが企画し、説明などで使うものを準備をしました。それを11月2日に3年生が実施しました。しかし雨のため、企画していた芋ほりが中止となり室内活動となりました。交流活動の中で、サツマイモを使った料理を保育園児に知ってもらうため、簡単に美味しいスイートポテトを作り、プレゼントしました。

そのスイートポテトを試作してみて、園児が作りやすいようなレシピを細かい所まで考えることがすごく大変でした。スイートポテトの試作では、牛乳の量が少しでも違えば、味や焼き加減、触感や固さまでもが変わることが分かりました。

そして、牛乳アレルギーがある園児のことを考えて、牛乳を使わないサツマイモ料理も用意しました。それがこのサツマイモの茶巾絞りです。園児と作る予定だったので、簡単に、安全に作れるものを考えました。

次に保育園での花苗植え講座の企画案作成についてです。

まず、保育園で植える花苗の栽培をしました。栽培したのは、ハボタン、ピオラ、マリーゴールド・サルビアです。栽培した花苗を使って、花の寄せ植えをしました。

花壇に植えるだけでなく、1つのプランターでたくさんの花を植えるので、見栄えもよく、楽しむことができます。

## ズッキーニを活用した食育講座企画案作成

保育園との合同調理会では、子どもに人気のハンバーグにズッキーニを加えたズッキーニハンバーグと、ズッキーニとツナのサラダを作ろうと考えています。そして、老人クラブとの合同調理会では、ズッキーニのタルタル鶏ソテーと、ズッキーニとベーコンの卵とじスープを作ろうと考えています。まだ、試作などは作っていませんが、これからの活動で実施していきたいです。

## まとめと今後の課題

まとめは、コロナの影響で思うような活動ができなかったので、企画案などできることを話し合いました。

スイートポテトは保育園児にとっても喜んでもらったので良かったです。今回雨で芋ほりが実施できませんでしたが、交流活動の内容など改善すべきところもあるので、来年度の実施に向けて、しっかり準備していきたいと思います。

今後の課題としては、子供たちに教えるときにどうわかりやすく教えるかしっかり考えていく。また、コロナ禍でもできる活動を考えながら取り組んでいきたいと思っています。

今後の活動は、花苗植え講座の実施、ズッキーニ料理の試作、保育園児向けズッキーニを活用した食育講座の実施、老人クラブとの合同調理会でのズッキーニ料理講座の実施、保育園児との芋ほり実施予定です。

これで福祉班の発表を終わります。